

# 京大数学理科後期 1993 年度

## 1 問題 1

$f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$  が次の 3 条件を満たしているとする.

1.  $\lim_{x \rightarrow 1} \frac{f(x)}{x^3 - x} = 1$
2. 曲線  $y = f(x)$  の  $x = 0$  における接線の傾きは負である.
3. 2 点  $(0, f(0))$  と  $(1, f(1))$  を通る直線を  $l$  とする. 曲線  $y = f(x)$  と直線  $l$  で囲まれる図形のうち,  $0 \leq x \leq 1$  の部分の面積は  $\frac{3}{4}$  である.

このとき,  $a, b, c$  の値を求めよ.

## 2 問題 2

実数  $a$  に対して,  $f(x) = x^3 - 3ax$  とおく.

1.  $t$  を実数とする. 方程式  $f(x) = t$  が相異なる 3 個の実数解を保つために  $a$  と  $t$  が満たすべき条件をもとめよ.
2.  $g(x) = f(f(x))$  とおく. 方程式  $g(x) = 0$  が相異なる 9 個の実数解を持つような  $a$  の範囲を求めよ.

## 3 問題 3

原点  $O$  を中心とする 1 つの円周上に相異なる 4 点  $A_0, B_0, C_0, D_0$  をとる.  $A_0, B_0, C_0, D_0$  の位置ベクトルをそれぞれ  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{d}$  と書く.

1.  $\triangle B_0C_0D_0, \triangle C_0D_0A_0, \triangle D_0A_0B_0, \triangle A_0B_0C_0$  の重心をそれぞれ  $A_1, B_1, C_1,$

- $D_1$  とする. このとき, この 4 点は同一円周上にあることを示し, その円の中心  $P_1$  の一ベクトル  $\overrightarrow{OP_1}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{d}$  であらわせ.
- 4 点  $A_1, B_1, C_1, D_1$  に対し上と同様に  $A_2, B_2, C_2, D_2$  を定め,  $A_2, B_2, C_2, D_2$  を通る円の中心を  $P_2$  とする. 以下, 同様に  $P_3, P_4, \dots$  を定める.  $\overrightarrow{P_n P_{n+1}}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{d}$  であらわせ.
  - $\lim_{n \rightarrow \infty} |P_n Q| = 0$  を満たす点  $Q$  の一ベクトルを  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{d}$  であらわせ. ただし,  $|P_n Q|$  は線分  $P_n Q$  の長さである.

## 4 問題 4

$a$  は正の定数とする. 不等式  $a^x \geq ax$  が全ての正の数  $x$  に対して成り立つという. このとき  $a$  はどのようなものか.

## 5 問題 5

$n \geq 3$  とする.  $1, 2, \dots, n$  のうちから重複を許して 6 個の数字をえらびそれを並べた順列を考える. このような順列のうちで, どの数字もそれ以外の 5 つの数字のどれかに等しくなっているようなものの個数を求めよ.

## 6 問題 6

$a_1, a_2, b_1, b_2, c_1, c_2$  を実数とする. 不等式  $\frac{a_1 x + b_1}{x + c_1} > \frac{a_2 x + b_2}{x + c_2}$  が  $x \neq -c_1$  かつ  $x \neq -c_2$  となるすべての実数  $x$  に対して成立するための必要十分条件を求めよ.